

誇らしきエヒメアヤメ

下難波エヒメアヤメ保存会 川端 一志

エヒメアヤメは中国、四国、九州の瀬戸内海を囲む9県に自生し、愛媛県松山市・広島県三原市・山口県防府市・同下関市・佐賀県佐賀市・宮崎県小林市の6か所が自生南限地として国の天然記念物に指定されております。

松山市腰折山のエヒメアヤメの特長として次のようなことが挙げられます。

第一 エヒメアヤメの元祖であること

6か所何処へ行っても、ヒロシマアヤメ等ではなくエヒメアヤメです。
最初に発見され命名されたからでしょうか。

第二 最も自然な状態が保たれていること

他所の自生地はフェンスで厳重に囲われ自由に入ることはできません。
また見学道もロープが張られ花のそばへ行くことはできません。腰折山では何時でも自由に入れ自分で見つける楽しみがあります。

第三 自生地からの眺望がすばらしいこと

当地の自生地は山の中腹に位置するため登山道を登る苦労はありますが、瀬戸内海・忽那諸島・鹿島を見渡せる眺望は自慢できることです。
他所はほとんど平地に近く、木に囲まれた谷間のような感じです。



数十年前までは、新城山・丸山・腰折山等の広い範囲に自生していたようですが、現在は今の狭い範囲に限られていること等を考えますと絶滅危惧種に間違いないと心配しております。誇らしい腰折山のエヒメアヤメのこと、保存会としては皆様方のご協力を頂き、天然記念物である天然を大切にしながら保存に努めたいと考えております。どうか宜しくお願いいたします。



エヒメアヤメ



エヒメアヤメ保存活動

エヒメアヤメ自生地

難波の福祉だより

第31号

令和4年2月発行
発行：難波地区社会福祉協議会

難波地区人口(R4.1.1現在)
人口……………1,673人
(内訳) 男……………789人
女……………884人
世帯数……………708世帯

公民館長1年目を 振りかえって!



難波公民館
館長 中村 祝志

昨年は新型コロナウイルス感染症が急速に拡大し、私たちは不安を抱き、我慢を強いられながら過ごしてまいりました。ワクチン接種が進み、感染が収束している状況ではありましたが、年明け早々にオミクロン株による感染が増加しており、まだまだ警戒が必要な状況があります。一日も早く感染が終息し、コロナ禍前と同様に、皆さんと共に公民館活動や交流が出来ることを切に願っているこの頃です。

福祉とは「人びとの幸せ」「人がよく生きること」を目指すものであり、何より人びとに対する思いやり、優しさ、そして高い使命感に裏打ちされるべきものであり、公民館活動も同じ思いで進めるべきであります。

公民館も春先から予定していた、運動会やグランドゴルフ大会などスポーツ事業や各種講座が中止となりました。各事業には中心となって準備運営していただく関係者の方々がおられますが、中止決定の通知を受けて嘆かれた表情が印象に残っています。この方と同様の思いを抱かれた方も少なくないと思います。

公民館のモットーは「つどう」「まなぶ」「むすぶ」であると言われています。コロナ事業で三密(密閉・密集・密接)を避けることが要請されました。この三密はまさにモットーの三項目に重なり、公民館事業の根幹に関わるところで、機能停止に陥らざるを得ない状況となりましたが、感染対策を取りながら社会活動を徐々に進めて行くという両面方向になった訳です。

先日には、「コマ回し大会&春の七草教室」を実施しました。久しぶりに子供たちや地域の皆さんの笑顔が見られました。大変うれしかったです。

まだまだ厳しい状況ではありますが、新型コロナウイルス感染症の早期終結と地域の皆様のご健勝をお祈りしつつ、本年も公民館活動へのご参加・ご協力をお願い申し上げまして、次年度へ向かいたいと考えております。

共同募金協力のお礼と使途について

“皆さんの暖かい心は地域に役立っています”



令和4年2月
難波地区共同募金会
会長 高橋 秀樹



毎年、赤い羽根共同募金運動に格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年から本年にかけコロナ禍により医療体制をはじめ、経済状況等何もかも厳しい情勢の中ではありましたが、10月から12月までの募金運動の結果、皆様の暖かいご協力のお陰により、難波地区では目標額を上回る下記の実績となりました。ご芳志によりご寄付頂いた募金は、県・市及び難波地区の各社会福祉協議会等において、有効に活用させていただきます。

地域福祉活動も皆様方のご協力があったからこそその活動であり、地域福祉が重要視されている中、今後とも引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げお礼の言葉といたします。

以下のとおり共同募金運動の実績をご報告いたします。

1. 令和3年度目標額	241,100円
2. 実績額	534,150円
3. 達成率	221.5%
4. 運動経費（資材費、事務費、広報費）	17,580円
5. 募金の種類別実績	
○個別募金	(541戸) 270,500円
○法人募金	(36件) 114,000円
○個人大口募金	(99件) 102,000円
○職域募金	(2件) 47,650円

- 個別募金は、区長・組長さんのご奉仕による各戸からの募金です
- 法人・職域・個人大口募金は、区長・民生児童委員さんのご奉仕による法人・職場・個人からの募金です

〈共同募金の使途について〉

【収入】 昨年の実績は収入合計521,500円を松山市共同募金会へ入金、その中より392,700円が社協活動助成金として難波地区社協に返戻されました。本年も返戻されます。

【支出】 収入の全額を難波地区社会福祉協議会の活動や各種団体等に助成金として配分しています。
内訳①各団体（高齢クラブ、いきいきサロン、難波子供教室、郷土遺産保存活動〈えひめアヤメ保存会〉等10団体に助成金として配分

②難波地区社会福祉協議会へ活動助成として配分

【収入・支出の詳細は別途、難波地区社会福祉協議会より決算報告をする予定です】

法人・個人等 大口募金寄付者芳名 （順不同敬称略）

〈難波地区共同募金会資料より〉

庄 区 シュウケンサービス、(有)難波農用地、荻山知良、篠原秀樹、山崎勝幸、萩山忠之、萩山浩治、尾崎順彦、井手浩二、萩山道男、片山克久、大野則男、土居理臣、萩山勝美、萩山 敏、山崎哲男、篠原千穂子、大上陽司、荻山美絵

上難波区 宗教法人最明寺、(株)ロイヤルアイゼン、高橋秀樹、成岡元章、田中良喜、高松洋三、嶋田秀樹、渡部修二、原田仁司、池上茂、田中学、田村周治、田村三蔵、高松俊彦、高橋昭夫、高橋和子、兵頭千文、渡部勝俊、渡部靖子、田中千恵子

中 通 区 シルバー工芸、松峰園、(有)西谷園芸センター、サテライト難波／上田勇造、デイサービスセンター難波／織田聡、小規模多機能センター難波／吉村充史、難波小／野中聖子、森野淳一、坂本忠三、餌原貞雄、荻山安弘、室地勝之、垣本武志、小林照明、高橋公雄、田口伸二、渡部能行、高松周二、高松信博、道後美幸

下難波区 (有)かわよし、山崎歯科医院、風早いちや、(有)北真工務店、中田工業(株)、(有)福山美装、慈童保育園、大通寺、川端自動車、萩山自動車、オルゴン越野、ワークス新成、エリサジャパン、井手鉄工、インテリア乗松表具店、渡部建興、松山中央アスコン、北条育成園、北条あかつきの郷、マルナカ北条店、(有)カネモ、アトムグループ、(株)三興部品、福山孝人、篠原祐二、中野司朗、篠原収司、篠原健竜、渡部公一、越野圭一、渡部英樹、渡部洋太、篠原裕司、篠原由延、久留嶋利数、川端良和、渡部洋司、渡部輝久、荻山英俊、川端利典、渡部暁英、池内和美

石風呂区 森一博、森美津枝、川端伸二、金子国光、山西忠利、渡部洋子

大 浦 区 風早の郷ふわり協同組合、(株)OCファーム暖々の里、たこ匠、茶熊商店、波妻ドライブイン、おやつのひより、山西和廣、中原伸、山田晴輝、中村公廣、金子英敏、川上真吾、浅原聖治、長野隆介、長野佳彦、山岡幸廣、池田幸治、浅原光男、中村伸二、山田哲生、川上基視、河野久男、松浦忠則、中村祝志、池田昇、金子秀樹、長野邦計、金子豊実、山田由美

令和3年度赤い羽根共同募金運動に対し、区民の皆様、事業所の皆様方のご協力によりたくさんのご寄付を賜り誠にありがとうございました。